



令和2年度第4号 令和2年7月31日発行

十日町高等学校松之山分校 校長 森川 幸彦

松之山分校ホームページ (<http://www.tookamachimatsu-h.nein.ed.jp/>)

松之山地域の取組

7月9日（木）の総合的な探究の時間にて、松之山地域の取組について学びました。

新潟大学柳沼宏寿教授からは、下川手集落の『学術技術報』に見る子供の戦争表現についてと題して講話をいただきました。松之山地区における教育に関する研究を長年携わり、地域の文化向上への意志と団結力、学習意欲を高まる意図として「書」や「絵画」を尊重した教育文化について話をいただきました。



松之山地域協議会の皆様からは、「松之山の“スゴイ”取組み
自慢大会」について紹介いただきました。

松之山地区「下川手集落の取組み」

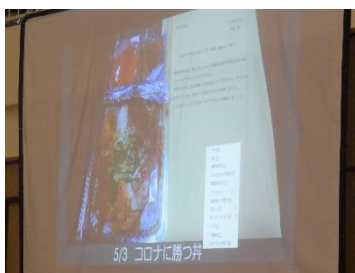
松里地区「秋の風物詩！ヤナギバヒマワリ」

布川地区「つながる」

浦田地区「地元のスーパーを絶やすな」

三省地区「三省は小粒でもピリリッと辛い！」

生徒達で一番スゴイと感じた取組は、浦田地区のスーパーマーケットでした。「住民達が協力してスーパーまで建てて経営していることが、大変なことなのに長い間続いていて驚いた」「自分たちの力でスーパーを作り、それが10年も続いているのがすごいと思いました」「すごいな。黒字がすごい。10年も経営しててすごい」といった驚き



の感想が多かったです。また、生徒達が協力しみたい地区としてあげたのは、松里地区のヤナギバヒマワリでした。「みんなが喜ぶためと言ってすごくすてきだと思い、地域全体とまでは行きませんが、なるべく広範囲に咲かせてたくさんの人に見てもらいたいです」「ヤナギバヒマワリを植え付けて9年で、観光客も来ると聞いたので、たくさんの人に知ってもらえるよう、呼びかけをしたりして、もっと有名になってほしいと

感じた」「ヤナギバヒマワリを植えることでたくさんの人が元気になってくれるから協力しようと思った」などの感想がありました。また、取組自慢を聞いて生徒達は、「出来ることからやってみるという言葉を中心に留めながら頑張っていきたいと思います。」「小さな取組が、後々よい結果が出ると思うので、これからも頑張ってください。」「地元をよくするために、いろいろなことに挑戦していてすごいと思います。」「これからも目標に向かって行動してください。地域の人々が毎日笑顔でいられるように頑張ってください。」「都会じゃなく、田舎に残ります」などなど、地域を良くするために“やってみる”が、松之山分校における地域課題解決に向けた活動に対して、大きな励ましとなりました。



十日町市の取組

7月22日（水）の総合的な探究の時間にて、十日町市の現状・課題・取組を理解するプログラムを実施しました。

第1部十日町市の分野別の現状・課題・取組の紹介は、5課の方々から話をいただきました。

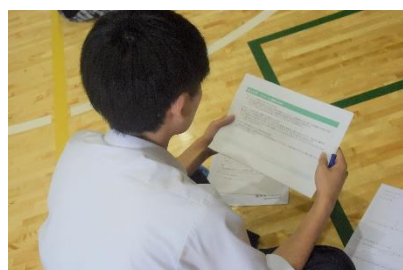
- ① 怒濤の人の流れで活気あるまち（観光交流課）
- ② 活力ある農林業と魅力ある里山のあるまち（農林課）
- ③ 若者の地元定着・地元就職（産業政策課）
- ④ 雪とともに生きる（建設課）
- ⑤ 地域で支えある福祉のまち（福祉課）



第2部は5つのグループに分かれて、各分野に関する内容を十日町市職員と生徒達がディスカッション形式で各分野の課題について話し合いました。



第3部は地域課題解決に繋げるアンケート手法に関する講話を、松之山地域支援員の本山様から話をさせていただきました。



今回のプログラムより、1年生は地域探究の課題設定、2年生は地域探究の調査活動に向けて取組みます。

7月の探究学習は、地域・行政・大学の方々を招いて校内で学びました。2学期は校外への活動（コロナウイルス感染症の状況を見ながら）を実施しながら地域課題解決に向けた探究学習に取り組めます。松之山分校は、地域と協働しながら地域に貢献できる人材を育成する教育活動に励んでまいります。

今後の行事予定

8月	
7日（金）	1学期終業式 学年PTA
8日（土）～ 18日（火）	夏休み
19日（水）	2学期始業式
20日（木）	基礎力診断テスト
27日（木）	探究活動



松之山分校

検索

松之山分校の最新の活動状況はホームページにて配信しています。
松之山分校で検索してください

松高生の活躍を地域に発信！

担当 教頭 松原 直樹

電話 025(596)2025 FAX 025(596)2264